

「抽象論はやめよう！」

「教育再生」は必ず実現できる

「学校を拠点に地域の人々が集い交流する

「二十一世紀型の学校とは」

事前申込
が必要です！

講師 神奈川大学人間科学部教授

大竹弘和（おおたけ ひろかず）



講演日時：2026年3月19日（木）
15時～16時半

開催場所：衆議院会館地下1階 第六会議室

お申し込み：NPO法人教育再生地方議員百人と市民の会
090-3710-4815（事務局 増木 まで）

教育の基本は「幸せの追求」と再定義し、
コミュニティの中核としての学校のあるべき姿を考え
いじめ、学力格差、体力低下など多くの社会課題の
解決策を具体的に提示します。
さらに官民連携の学校運営から
教員の多忙化や部活動問題にも言及していきます。

講演内容

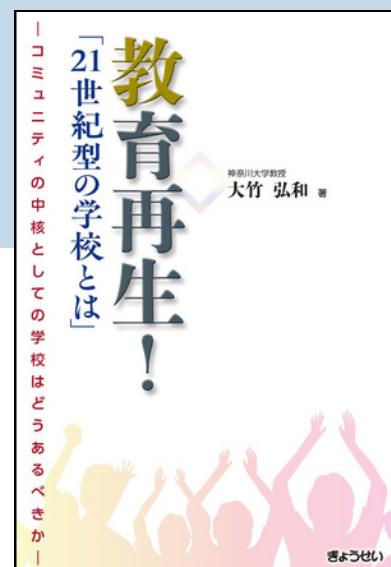
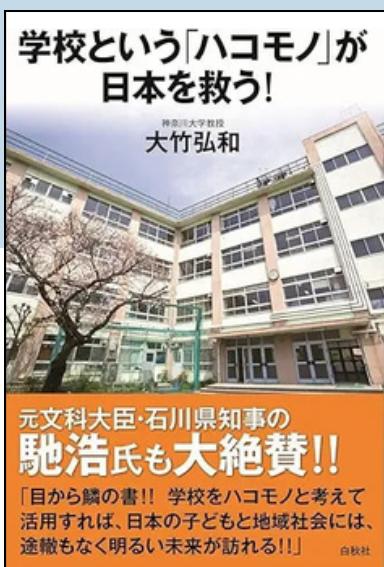
- 1 教育の基本は「幸せ」の追求
- 2 いじめ問題、教育格差、居場所、子ども食堂の具体的な解決策
- 3 コミュニティの中核としての学校とは
- 4 教員は魅力的職業 プロフェッショナルとしての教員
- 5 コミュニティスクールの次なるステージ「地域交流デパートメント」とは
- 6 「部活動問題」はなぜ複雑化しているのか
- 7 公共施設の新たな形を学校から 公共施設マネジメント

講師

神奈川大学人間科学部教授。
専門は、公共政策（官民連携）、
スポーツビジネス・マネジメント。
筑波大学大学院修了。

スポーツ施設ストック適正化委員会委員（スポーツ庁）や
ジャパンナショナルスタジアム（国立競技場）第三者諮問委員会委員、
スバルテック（日本最大のスポーツ健康産業コンベンション）実行委員、
交流拠点としてのスタジアムアリーナ選定委員ほか、
多くの自治体で公職に就任するとともに、
政策シンクタンク「総合システム研究所」代表取締役を務める。

大竹 弘和



Hirokazu OTAKE

主な著作

- ・「学校という『ハコモノ』が日本を救う！」
(2022年白秋社)
- ・「実践指定管理者制度における
モニタリング評価」
(2008年(株)ぎょうせい)

など多数。

【議員会館入館 及び 講演会参加に関して】

- ・「教育再生」の新書を読んでご参加ください。
- ・講演当日、14時半より衆議院会館正面入り口にて手荷物検査の後
担当者が入館証をお渡しいたします。

当日連絡先担当者 永井由紀子(090-1425-5130)